

# 30周年目の古河JCへ

# まくらが

熱いスローガンの元、今年一年大いに活動しましょう！

12月例会にて伝達式後の沼田理事長予



12月例会伝達式の模様

発行  
古河JC  
渉外広報委員会

1月1日(木)  
第1号

皆様、あけましておめでとございませう。いよいよ年が明けて2009年度が始まります。皆様には色々忙しい思いをさせることになるとは思いますが、1年間どうぞ御協力いただきませうよう宜しくお願い致します。

さて、(社)古河青年会議所は、2009年度30周年を迎えます。何度もお話しておりますが30周年は特別の年ではあります、(社)古河青年会議所がこれから50年100年続いていく為の通過点ではないでしょうか。

しかしながら、周年を迎えると言う事で皆

様の機運が高まりますし、LOM全体で記念式典・事業を開催することによりLOM全体が、ひとつにまとまるといっても現実にはあるかと思えます。その勢いを、この後迎えるであろう40周年に向けての弾みにしたいと思えます。

更には、2009年度は結果にこだわった活動・運動をしていきたいと思えます。何故ならば、事を起すときには計画があり、準備があり、結果が出ます。よくあるはそのプロセス(計画・準備)が大事であるといわれます。確かにそう思いますが、計画・準備がしっかりしていれば結果も自ずと付いてくるものだと思っています。

## 09年度スローガン 『たかがJC・されどJC』 勇気を持って本気の行動

今年のスローガンです。言葉通りの意味ですが、本気の行動をするということは、勇気がいりますし、覚悟も必要です。しかし、皆様は独りではありません、皆様の後ろには2名の仲間がいます。困ったときは相談してください、愚痴ってください、そして頼ってください。私も(社)古河青年会議所 理事長として責任を持った行動をしていきます。是非本気の行動を、思い切った行動を、年間続けて頂く様お願いし年頭の挨拶に変えさせていただきます。



「たかが」C、されど」C」勇気を持って本気の行動！

## 1 月例会の案内

担当 2009年度 研修委員会

### 趣旨

2009年度の古河青年会議所は、30周年という節目の年を迎えます。新年度の幕開けにあたり、2009年度の古河JCにおける様々な活動を乗り越えていくためには、自己と向きあい豊かな発想で臨む必要があり、考えます。そこで、座禅を通してメンバー各個人がより深い思考で取り組んでいただけるよう企画いたしました。

### 記

- 1 . 内 容 講話及び座禅と解説  
講師：田中 勝道氏（寶輪寺住職）
- 2 . テーマ 「思考」
- 3 . 日 時 2009年 1月 8日（木曜日）  
19時00分～21時15分
- 4 . 場 所 浄土宗 虎溪山 寶輪寺  
（古河市本町1丁目4 - 7）
- 5 . タイムスケジュール  
18：30～19：00 受付  
19：00～19：25 開会セレモニー  
19：25～19：28 趣旨説明  
19：28～19：43 解説  
19：43～19：45 講師紹介  
19：45～20：50 講話・座禅  
20：50～20：55 謝辞  
20：55～21：15 閉会セレモニー

社団法人 古河青年会議所  
理事長 沼田 剛

〒306-0204 茨城県古河市下大野2209-9（古河市総和商工会館）  
TEL:0280-92-4500 FAX:0280-92-4502

### 新井淳也の 食べ物コーナー

材料 / 4人分

- キャベツ 1個・ジャガイモ(小玉) 6~8ヶ
- ニンジン 1~2本・ベーコン 10~15枚
- コンソメ 1ヶ・酒少々・水 200cc

今年度「食べ物コーナー」を担当する新井です。一年間宜しくお願いいたしますm(\_ \_)m

さて、1回目のネタを探しておりましたら偶然にも小森谷専務からキャベツをもらいましたので、簡単に出来る「キャベツとベーコンの蒸し焼き」をご紹介します。  
皆さん！キャンプで料理でもやろうとダッチオーブンを買ってはみたけれど、そのまま物置に・・・なんてことはありませんか？ ダッチオーブンはとても便利な道具でキャンプの時だけ使うのではなく毎日キッチンで重宝するアイテムなんです。ぜひ、物置からひっぱり出しては？



材  
料  
写  
真

それでは作り方

1. キャベツは洗って4つに割る
2. キャベツの中にベーコンを適当に挟み込む
3. ダッチオーブんにキャベツの半分を断面を上にするように入れて、まわりによく洗ったジャガイモを並べる
4. もう半分のキャベツを入れて、隙間にニンジンを入れる
5. 酒をふりかけて水を入れて、コンソメを入れてふたをする。弱火で20分くらい蒸す。
6. 完成 (なお、ダッチオーブない場合は新井まで連絡を)



完  
成  
写  
真



調  
理  
中  
写  
真

## 蒼き侍達の夢 第参章

2002年6月18日、みちのく仙台で惜しくも途切れた大きな夢、あれからもう6年も経ってしまった。6年間日本サッカーは順調に進化を遂げ、とは残念だが行っていない。ハツキリ言つて今の代表は筆者がサッカーを観るようになった16年間で最低のチームであると思つてしまふ。それまで着実に結果を出してきた日本サッカーだが、2006年ドイツ大会での惨敗以来、アジアカップでは大会守り抜いた王者の座を明け渡した。先日のクラブ杯を見ていても世界との差は未だ縮まっていない。今回の杯はもしかすると母国の出場していない寂しい大会になってしまうかもしれない。そんな気がしてならない。

いはもう始まっている。2010 FIFAワールドカップ南アフリカ大会、アジア地区最終予選。進出国10カ国が2グループに分かれホーム&アウェイでリーグ戦を行い上位2カ国ずつ計4カ国がまず南アフリカ行きの切符を手にする。3位どうしてプレーオフを行い勝者が出場する。アジアからの出場枠は5。現在、我が日本代表「蒼き侍達」はグループ1で2勝1分け、オーストラリアに続き2位。2位以内を確保しているのだから大丈夫。と思つてしまいがちだが、正直言つて「2位に甘んじている」と言つたほうが正しいのではないか。

不安なのは10月に埼玉で行われた第2節ウズベキスタン戦。圧倒的な差を見せつけて当然のように「勝点3」を叩きつけなければならぬ相手に1-1で引き分けてしまった。厳しい言い方であるがこれは明らかな取りこぼしである。！！  
そして時節2月11日、ホームでグループ最大のライバル、オーストラリアを迎え撃つ。長い長いイバラの道はまた始まったばかりだが、早くも最大の山場が訪れてしまった。この戦い如何で南アフリカ行きの是非が決まると言つても過言ではないだろう。絶対に勝たなければならぬ試合なのだ。！！  
たとえ予選といえどもやはり杯。簡単な試合など1つもない。しかし、今までの代表は必ずやってくれた。今回の代表は今一気持が伝わってこない。今度こそ『大和魂』を魅せてもらいたい。  
2010年、世界を相手に今度こそ夢を掴む。この夢を観るために、  
文・齊藤康広

### 編集後記

渉外広報委員会委員長クロス・力不足な気はするのですが、精一杯会報を作つてまいりますのでよろしくをお願いします

# 2008年度12月例会卒業式の模様



2008年、  
7名の卒業生の皆さん、  
会報誌を見るころにはO  
Bですね、現役のメンバー  
へ叱咤激励よろしくお願  
いいたします。  
30周年の式典や1月例  
会でお待ちしております。  
本当におめでとうござい  
ました。



卒業式懇親会では  
新入会員の千野君主体の下、卒業生へなかなか聞けない質問や、きわ  
どい質問が出席された奥様方から多数寄せられ、一部卒業生は冷や汗  
をかいたとか、かかないとか、なかなか見られない風景です。

ちょっと古い  
洋画の世界のよ  
うな小森谷先輩  
です。メロンソー  
ダはほどほどに  
してくださいね。



12月例会を担当しました、会員開  
発のメンバーのみなさん式典ではかっ  
こよく、そして懇親会では楽しく、  
素晴らしい卒業式だったと思います。  
会員開発委員会のメンバーの皆様、  
お疲れ様でした。そして来月1月は  
09年度最初の例会担当研修委員会  
のお知らせが最終ページにございま  
す。卒業生の先輩方も一年の新しい  
節目にどうぞご参加いただければと  
思います。